



有資格者と無資格者の差別化を

昨年12月8日、令和6年度の当会と埼玉県柔道整復師会との情報・意見交換会がさいたま市大宮区のソニックスティ会議室で行われた。毎年行われている交換会だが、本年は埼玉県が幹事県ということで大宮での開催となった。

両会とも会長をはじめ、理事・監事・事務担当者が出席。相談役として片岡祥二前会長と埼玉県の渡辺寛前会長にも出席していただいた。

会議内容は事前に質問項目を送っており、それらについて回答する形での意見交換とした。

埼玉県も会員の平均年齢が高く、若い会員が少ないのが悩みのタネ。今年の永年在籍会員が120人だということ(会員数750人中)。

学術部関係として、埼玉県は独自の「匠の技伝承プロジェクト」を開催しているとのこと。「根本流」を継承する渡辺一民副会長が主宰の「わたなべ塾」が今月の16日にも開催予定だそう。また、来年度は埼玉県で関東学会が行われるため、栃木大会の情報を参考にしたいとの希望だった。

事業部関係では支部の公益事業に対して、埼玉県柔道整復師会から人数×7,000円の助成を行い、その中でやりくりしているそう。

広報関係では、会の情報発信ツールとしてSNSやYouTubeの活用動向、会報の内容についての質問があった。

埼玉県が行った県民に対する調査(埼玉県公式HP)によると、あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう・柔道整復の施術経験のある人は45.6%、そのうち「あん摩指圧」が60%、「はり」は53%、「柔道整復」は36%にとどまっている。しかし、79%の人が効果や安全性が理解できれば施術を望むとしているのがせめてもの救いかもしれない。

民間療法(カイロや整体)を埼玉県民の66.5%が利用しているが、無資格で営業していることを半分以上の人が知らずに施術を受けている。そこで、埼玉県では「施術所開設届出事項証明書」を発行し、有資格者のいる施術所と無資格店舗の差別化がなされているそう。ぜひ、本県でも取り入れていただきたい。 広報部



柔整療養費審査委員会における面接確認委員会では、施術録の確認は重点的な審査対象となります。

ところが、概ねそのような場に呼び出される施術管理者の施術録には不備があり、これでどのようにして支給申請書を作成し算定しているのか疑問を生じるところで

す。施術録は万が一、不支給や返戻となった場合には大切なエビデンスとなるわけですから、日頃から予診票との照合、外傷性が明らかな根拠、それに基づく検査、症状、経過、裏面の算定金額の明記等含め整合性のとれた記載を整備しておくのは大切なことです。

今回は施術録の負傷原因の記載について考えていきたいと思います。

<負傷原因>

日時：いつ（わかれば時間）

場所：どこで（私用、業務中との区別）

状況：どの部位が何をしてどうなったのか。

例えば具体性に欠ける例として、「ゴルフをしながら」「転倒した」・「作業中に負傷した（労災と誤解される）」などのほか、グキッ・ポキッ・ドスン・ゴツンなどの擬音語で表現しているものがあります。

どのような状況で負傷したのか？どうして転倒したのか？などが第三者にも認識できるような「具体的な記載」をすることが大切です。

今回は施術録の記載についての注意事項などを説明させていただきます。

* 昨年 12 月から受領委任を行っている施術所についてはオンライン資格確認が義務化されました。

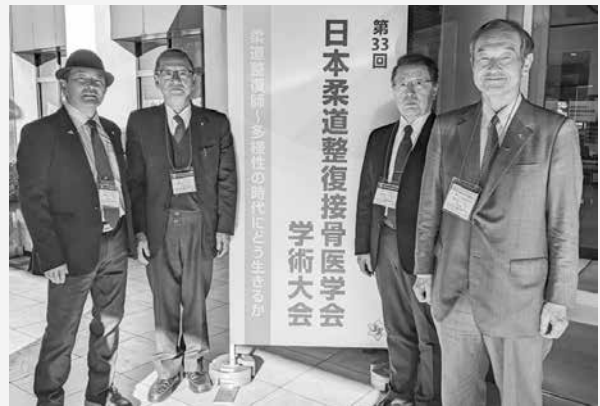
当会において記号番号・給付割合の相違や資格喪失等が返戻理由の中でも上位を占めています。このような不備はオンライン入力の実装により今後は減少すると思いますが、入力方法は各レセコン会社によって違いますが、各担当者へ確認のほどをお願いいたします。

* 自賠責保険施術費明細書をプリンターで印字した場合は、柔道整復師氏名欄に「押印」をしてください。自署（手書き）の場合は不要です。また、二重線で訂正した場合には訂正印をお願いします。

東洋医学と西洋医学の架け橋

昨年 11 月 30 日、12 月 1 日の両日、第 33 回日本柔道整復接骨医学会学術大会が行われ、当会理事の田代会長・半田副会長・高野学術部長・小森広報部長と熊倉監事が参加してきた。

会場は 2020 年に開学したばかりの「東京保健医療専門職大学」という聞きなれないキャンパス。リハビリテーション学部には理学療法学科と作業療法学科を持つ専門職大学で、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開させることを目的とするため、必要な単位のうち実習が 3 割から 4 割を占めるそうだ。柔整鍼灸学校も運営する学校法人敬心学園が経営している。16 年前に開校した臨床福祉専門学校（2022 年 3 月閉校）のキャンパスを引き継いでいるため、校舎の新しさは感じない。



大会メインテーマに掲げるのは「柔道整復師～多様性の時代にどう生きるか」で、敬心学園理事長の小林光俊氏が「多様性の時代に求められる専門職とは」と題して講演した。

大会は大学関係者の発表が過半数を占めたが、施術所開業者や医療機器メーカーなど 190 人の発表者が登壇し、さまざまな角度から研究・考察した多彩な論文を 2 日間にわたり発表した。

初日には那須支部の刈屋遵会員が「膝蓋骨外側縦骨折の 1 症例」、宇都宮支部の東文博会員が「医療系大学生の自身が加入している損害保険の認識」という論文を発表し、当会の存在感を示してくれた。

科学的エビデンスに基づく研究論文が年々増えており、西洋医学や医科へのアピールとなっているのはうれしいことだが、やはり骨折と災害救護に関する発表に人気があり、会場から聴講者があふれていたのが印象的だった。

広報部

Innovative Academic Department Series 新 学術部シリーズ

付設診療所編

診療所のご利用について



当会では、とちのきクリニックを毎月第1・3日曜日（変更の場合あり）に開設しており、整形外科医の須田利樹先生と飯島準一先生に交代で診察していただいています。

【依頼方法と内容】

当会ホームページにある「当会会員のページ」から専用の用紙をダウンロードしてご使用いただくか、当会事務局から取り寄せるようにしてください（必ず専用の依頼書をご使用ください）。

依頼書には必要事項をすべて記入してください。また、X線画像（フィルム・CDから選択）の要否は必ずご記入願います。

依頼書には、負傷の原因（不明確な場合はいつごろからの発症か）、施術経過、診察を依頼する目的など、医師の診察に必要な事項を詳細に記入してください。

再診依頼の場合は、必ず前回の依頼書を添付するようお願いいたします（複数回来院の場合はすべての依頼書を貼付）。特に、担当医師が変わった場合は前回の診断内容が重要であり、事務処理もスムーズになります。

受付は午前9時30分から11時30分です。時間厳守をお願いいたします。

【依頼内容の例】

- 骨折の疑いのある患者についてレントゲン検査・診察を依頼したい場合。
- 骨折患者に対し骨癒合の状況や経過について指導を仰ぎたい場合。
- 施術の長期化や、再負傷の患者に、今後の施術についての必要性や指導を仰ぎたい場合。
- 患者がセカンドオピニオンを希望する場合。
- 交通事故で負傷した患者の診断や同意。
- 交通事故で負傷した患者が自院に通院（転療）を希望する場合。

※事故の状況・経過内容を詳細に記入してください。長期経過した負傷は診断が困難になるため、転療を希望す

る場合は早期に依頼をするようお願いいたします。なお、保険会社への連絡も忘れずをお願いいたします。

ほんの一例として取り上げましたが、多くの会員が遭遇している事例だと思われます。自分で判断できないような場合には、確定診断を仰ぐことで安心して施術を行うことができること、技術の向上につながることで、患者が安心して通院できることなど利点がたくさんあります。

また、療養費の取り扱いについてもますます厳しくなっておりますが、とちのきクリニックを多くの会員にご利用いただき、骨折・脱臼に限らずさまざまな施術（長期化・繰り返す負傷）に対し医師の同意を受け、保険請求の際に「とちのきクリニック〇〇医師、継続施術指示あり」などと記載することも返戻対策として有効な対応だと思われます。

【ご利用ワンポイントアドバイス】

診察依頼した会員の方も一緒に来院いただければ、視診・問診・触診・徒手検査・レントゲン読影はもちろん、患者に対する細かな説明や指導は大変勉強になると思います。また、施術方針や疑問点なども質問すれば丁寧に説明してさせていただきます。

指示内容に書いていない目から鱗な「独り言」も聞けるかもしれません。明日からの施術に有効な情報がたくさんありますよ。

多くの会員のご利用をお願いいたします。

学術部 高橋秀典

還暦ほねつぎの独り言

最近、ゴルフのスイング改造を試みている。

腕のたたみ方、腰の回し方、重心の位置など試行錯誤の結果、還暦を過ぎた男でも曲がらず力強い球

で280ヤードを打てるスイングが完成した。

そして本番、1番ティーグラウンドに立ち慎重にアドレスを決める。そしてクラブをビュンと振った瞬間、布団がブォッと波打った。こんな初夢だった…。

三代目大木屋五平



My Box 支部リレー投稿

第250走者 栃木支部 清水川千良

戊辰戦役之碑



私の住む壬生町安塚には「戊辰戦役之碑」があります。

慶応4年（1868年）、江戸開城に不満を持った幕府軍は、江戸を脱出し各地で官軍に反抗しました。「安塚の戦い」もその一つです。

幕府軍の将、大島圭介は会津藩を中心として奥羽同盟を強大にすべく壬生を経て宇都宮に入ろうとしましたが、壬生藩に拒絶されたため鹿沼を通過して宇都宮城を落としました。幕府軍は、さらに壬生を攻略せんとして幕田（安塚に隣接する現在の宇都宮市幕田町）に進出しました。



一方、壬生に入場した官軍は、因幡藩（鳥取）・土佐藩（高知）を主力として安塚に向かい、島田家（現・島田医院）を本陣として幕府軍と姿川を挟み陣を構えました。

戦いは同年4月21日夜半から約4時間、豪雨と深い霧の中で行われたといわれています。

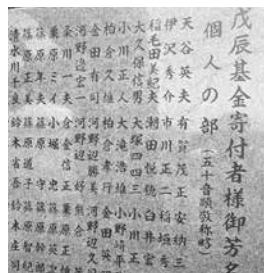
この時に戦死した幕府軍34人のご遺体がカラスや野生動物に荒らされているのを不憫に思った安塚の人たちが官軍の許可を得て、現在の栃木街道淀橋南交差点から旧道を南へ300メートルのところに霊を弔ってあげたと聞いております。

そして、安塚有志の大久保菊五郎ほか3人の手によって明治13年（1880年）に慰霊の碑が建立されました。

時は流れ平成26年、石碑の劣化や汚れがひどくなったため、安塚自治会会員有志により寄付を募って修復が行われました。

このような安塚の先人の行いを誇りに思い、私も寄付させていただきました。

次回は足利支部へバトンタッチです。



「人が倒れています！」



昨年12月15日、宇都宮市のとちぎ福祉プラザにて、赤十字災害救護救急法等基礎講習会が開催されました。

各支部から11人が参加し、4時間30分しっかりと学んできました。

最初の1時間ほどは座学で、赤十字救急法、手当の基本を学びました。

休憩をはさみ、AEDの取り扱い、心肺蘇生法の実技を行いました。皆しっかりと声を出して真剣に取り組んでいました。



私は2回目の参加でしたが、やはりところどころ記憶があいまいで、定期的に学んでおくことの重要性に気づかされました。いざという時に動けなくては、医療人として恥ずべきことだと自分に言い聞かせ、普段からテキストを見直すくらいのはしなればと思い直しました。

講習終了後、実技の試験、座学の試験もありました。当然、皆合格したことは言うまでもありません。

塚原経理部長がせっかくないでくれた日本赤十字社とのパイプを、より強固にするためにも災害に対する知識や技術を身につけていかなければと考えています。

日本赤十字社のホームページにも、さまざまな講習会の案内がありますので、思い立った時に受講してみてもよいかと。

最後に、指導してくださった山村直子様、室井賢一様、ありがとうございました。

広報部 丸山佳洋

支 部 だ よ り

那須支部

救護活動マッチング

1月23日、DI STADIUM（ディーアイスタジアム＝美原公園陸上競技場）において第34回大田原マラソン大会が開催され、接骨・整骨災害救護奉仕団として、那須支部の岡本博志会員、榊原賢治会員、村上直也会員、青木亮典会員とともにランナーの救護に従事した。

昨年の初参加時は3人で携わったが、今年は増員要請があり5人での救護となった。



5人いれば余裕をもって対応できるかと思っただが、昨年の要救護者が3時間で42人という、予想をはるかに上回った結果を考慮したためか、救護テントの広さが昨年の倍になり、ベッド数が8台、車椅子が3台に増えていた。

規模が拡大し体制が整うほど、昨年の経験則による自信と重責によるプレッシャーは大きくなるもので、特に初参加の会員の不安を取り除けるように入念にミーティングを行って準備を整えた。

今大会は10kmコースを含め約2,900人が健脚を競ったが、コースは栃木県唯一の（公財）日本陸上競技連盟公認コース（フルマラソン）で、制限時間4時間という高いレベル設定のため、招待選手のみならず一般ランナーも韋駄天が多いことで知られる。

今年のレースは、昨年のような高気温にはならず、平年並みの気温ではあったが、救護活動班の責任者である塚原純雄医師が「昨年と同様に筋痙攣、脱水症状、冷え症が多く発生する可能性が高く、症状が進行すると低体温症に移行しやすいため、今年は体調不良者と負傷者で救護テントを振り分け、より円滑な救護体制で臨む」と医師、看護師、柔道整復師、ボランティアを含め総勢

60人ほどの救護チームの前で述べた。

スタートから1時間半ほど経過すると昨年同様に続々と救護者が搬送され、瞬く間にテント内は満床状態になり対応に追われた。



負傷者の多くは下肢筋群の痙攣で、患部のマッサージやストレッチを施し回復を促した。そうして救護していると何やら聞き覚えのある声が…。昨年私が担当した救護者が今年も搬送され、「足が痙攣して痛い」と訴えていた。特徴ある声色でゴール後の達成感と高揚感からかテンションが非常に高かったため印象深かった。本人に声をかけると私のことも覚えていて「このレースは救護スタッフが多く安心できる。きっとまた来年も搬送されると思うのでよろしくお願いします」と笑顔で懇願された。私たちの存在と活動がランナーに認知されてきている中で頬が緩むようなエピソードだった。

救護活動実績は昨年を超える52人だったが、連携を深めて円滑に対応できた。この経験を来年に生かしていきたい。

今回も医師、看護師とともに連携をしながら救護する貴重な経験をさせていただいた。大会関係者に深く感謝するとともにこの活動へのご協力を会員に仰ぎたい。

通信員 古内秀直

必ずチェック！栃木県の最低賃金 働く人と雇う人のためのルールです！



地域別最低賃金 効力発生日：令和6年10月1日	
栃木県最低賃金	1,004円
特定最低賃金 効力発生日：令和6年12月31日	
塗料製造業	1,109円
はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業	1,055円
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	1,056円
計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具製造業、医療用機械器具・医療用品製造業、光学機械器具・レンズ製造業、医療用計測器製造業、時計・同部分品製造業	1,056円

詳しくは栃木県最低賃金特設ページ（栃木労働局HP内）をご覧ください。

2025 (令和7年)

行事予定

※とちのきクリニック
の受付は9:30~
11:30です

2月

- 2日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・高野・大芦・小林
- 8日(土) 療養費支給申請書必着日
- 12日(水) 20:00 とちのき3月号編集会議 小森・藤田・加藤
- 13日(木) 20:00 理事会 [WEB会議]
- 15日(土) 17:00 令和7年賀詞交歓会 [ホテル東日本宇都宮]
- 16日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・岡本・高橋・大木
- 18日(火) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 19日(水) 14:00 労災審査 [当会館]
- 20:00 とちのき校正会議 小森・加藤・植木
- 21日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
- 25日(火) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・植木

3月

- 2日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・野澤・直江・小林
- 8日(土) 療養費支給申請書必着日
- 9日(日) 8:30 第45回関東学術大会栃木大会 [栃木県総合文化センター]
- 13日(木) 20:00 理事会(支部長参加) [WEB会議]
- 14日(金) 20:00 とちのき4月号編集会議 小森・植木・丸山
- 16日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・高野・下野・大木
- 17日(月) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 21日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
- 20:00 とちのき校正会議 小森・丸山・古内
- 25日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
- 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・松山
- 26日(水) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]

(変更や追加などはホームページをご覧ください)

川柳

塩谷支部 船橋 仁和

悩んでも何億分の一人です
玄人の好むプレーは華がない
穏やかな日です財布が重いです

information

お知らせ

会員数

令和7年1月1日現在
 会員数 **360名**
 研修柔道整復師 **10名**
 施術所数 **342院**



会員の異動状況報告

(研)・研修柔道整復師

- ・小柔整26 倉井 洋治→小柔整70 倉井 康雄
倉井整骨院
〒329-0402 下野市笹原42-7
☎0285-44-4406 令和7年1月1日 院主変更

訃報

鹿沼支部 尾崎 敏行 会員のご母堂様
(榮子 様 89歳) がご逝去されました。
 芳賀支部 植木 大輔 会員のご尊父様
(和夫 様 88歳) がご逝去されました。
 宇都宮支部 鈴木 勝仁 会員のご尊父様
(和夫 様 75歳) がご逝去されました。
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご会葬御礼

過日は、ご多忙中にもかかわらず、会員の皆様にはご会葬を賜り誠にありがとうございました。

鹿沼支部 尾崎 敏行
 芳賀支部 植木 大輔
 宇都宮支部 鈴木 勝仁

関東学術大会のラインアカウントができました。

友だち追加して最新情報をゲット
してください。

当会 HP 日理工メディカルフェア
のリンクをクリック



LINE 友だち追加



保険者番号の変更

ホンダ健康保険組合 (令和7年1月1日から)
 一般 06133086 → 06110902
 特退 63133086 → 63110902

編集後記



ロウバイが咲き、香りを漂わせてく
れる時季になりました。透き通るよう
な黄色が素敵で、蠟ろうのようにツヤツヤしています。
花言葉は「慈愛」だそうです。

この気持ちで患者さんに接していきたいものです。
フジッコ